

第18回 静岡県メディア・ユニバーサル・デザイン

デザインコンテスト2024

募集要項



静岡県印刷工業組合

MUD 第17回 静岡県メディア・ユニバーサル・デザインコンテスト 受賞者・受賞作品発表

👑 最優秀賞

一般部門

おくすり 忘れんボックス

原 菜月・瀧美 真子 様
松本印刷(株)



学生部門

湖西市の 障がい者のしおりを デザインする

大塚 麻友香 様
浜松未来総合専門学校



👑 優秀賞

学生部門

地震防災 POCKET BOOK

市川 颯希 様
浜松未来総合専門学校



学生部門

会話おたすけ カード

油井 優奈・深澤 穂華 様
静岡デザイン専門学校



学生部門

こんなとき どうする？

平岡 未来・柳 優衣・
山田 紗也夏 様
静岡デザイン専門学校



学生部門

私の名前 なんじゃらほい

中島 由貴・宮崎 大雅・
荻田 天斗 様
静岡デザイン専門学校



👑 特別賞

子育て世帯が 飲食店に 入りやすくなる ためのステッカー

小楠 波季 様
浜松未来総合専門学校



Ingredients for you

石川 菜由・菅野 遥菜 様
静岡デザイン専門学校



第18回

静岡県メディア・ユニバーサル・デザイン デザインコンテスト2024

開催によせて

静岡県印刷工業組合では静岡県／静岡県中小企業団体中央会／静岡商工会議所の協力（後援）を頂き、MUDの普及に積極に取り組み、印刷関係者や、デザイン・福祉を学ぶ方々を対象にMUDデザインコンテスト及びセミナーを行って参ります。この活動は、国際的には観光ニッポンを目指している国の戦略にも大きく寄与できることでもあります。

県内においても、高齢者から子ども及び、身体に何らかの不自由を感じる人々にも優しくなれる活動です。このことは、コンテストの応募作品が全国大会でも高評を得て、UD先進県として全国と同業者から認められております。今年もより多くの皆様の参加で、より広くMUDの考え方がより一層、静岡県民に浸透し、住みやすい優しい社会に改善されていくことを祈念いたします。

ポイント

1 セミナーの開催

MUDの考え方を理解し、啓蒙を推進するため、印刷業界関連企業、デザイン関係者はもちろん一般企業や、福祉などに関心のある方々等、幅広い層を対象としたセミナーを開催します。

2 デザインコンテストの開催

MUDの取り組みの推進のためにデザインコンテストを開催しています。デザインコンテストに参加し、MUDに適応したデザインを作成することにより、UDの思想・精神を理解、啓蒙できる良いチャンスとして捉えています。

これからも

静岡県印刷工業組合としても今後はより一層国際化の波が大きくなり、それによるデザインの国際化が進むと考えられます。これからも私たちは弱者及び国際的に通用するデザインを作成し、社会貢献へと努めて参りたいと思います。

令和6年6月 静岡県印刷工業組合
理事長 岩井 泰次郎

第18回

静岡県メディア・ユニバーサル・デザイン デザインコンテスト2024

募集要項

1. 名称

第18回 静岡県メディア・ユニバーサル・デザイン デザインコンテスト 2024

2. 応募資格

- ①一般部門：静岡県内に本社または営業所等がある、印刷会社・企画制作会社・デザイン事務所などの印刷人及び福祉などに関心のある静岡県人。
- ②学生部門：静岡県内の高校・大学・専門学校生に限ります。

3. 募集部門

- ①グラフィックテクニック (DTP)：文字、組版、図表、イラスト、色使いなどを工夫した作品
- ②商品企画：種別、分野は自由で MUD を活用したオリジナル作品
- ③製本、加工技術：折、製本、形態など後加工で使いやすさに工夫をした作品

4. 授与賞

最優秀賞 (グランプリ)	一般部門・学生部門各々1点	賞品 30,000 円 相当
優秀賞 (準グランプリ)	一般部門・学生部門各々2点	賞品 20,000 円 相当
特別賞	一般部門・学生部門問わず2点以内	賞品 10,000 円 相当

5. 審査基準

見やすさ、カラーマネジメントレベル、デザイン性、新規性、機能性等の審査項目・審査基準により審査します。

6. 審査員

伊藤 裕道 (メディア・ユニバーサル・デザイン協会 会長)
小濱 朋子 (静岡文化芸術大学デザイン学部 教授)
中野 愛子 (静岡県くらし・環境部県民生活局県民生活課企画班 班長)
橋本 博 (全日本印刷工業組合連合会)
岩井泰次郎 (静岡県印刷工業組合 理事長)
門岡 亮 (静岡県印刷工業組合 青年部会 会長)
齋藤 尚是 (静岡県印刷工業組合 MUD事業推進委員会 委員長)

7. 募集期間

令和6年6月1日より(受付開始)～令和6年9月30日まで(締め切り必着)

■協賛企業

FUJIFILM

Value from Innovation
富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

KOMORI

<http://www.komori.com>

SEISHIN

誠伸商事株式会社 静岡支店
TEL:054-340-1191 www.seishin.co.jp

- 主 催 静岡県印刷工業組合
- 後 援 静岡県／静岡県中小企業団体中央会／静岡商工会議所
- 協 力 全日本印刷工業組合連合会
NPO法人メティア・ユニバーサル・デザイン協会
静岡県印刷工業組合青年部会

8. 審査日 令和6年10月中旬(予定)

9. 審査結果発表 令和6年10月下旬発表(予定)

10. 表彰式 令和6年11月上旬(予定)

11. 応募方法 作品1点とデータ1点(CD-Rに ai/eps/jpeg/pdf/形式でアウトライン化して保存したもの)を、出品申込書とともにお送りください。
1セットにつき出品申込書は1枚。

12. 申込み先 静岡県印刷工業組合
〒422-8076 静岡市駿河区八幡4丁目1番3号
TEL:054-286-5171 FAX:054-286-5172

13. 注意事項
- 締切日に遅れた場合、審査および授与対象から除外されます。
 - 応募された作品で優秀とみなされた作品が静岡県代表として東京で開催される第18回MUDコンペティションの参加作品になります。
 - 入選作品は展示・公開され、その他の印刷媒体に掲載される場合があります。
 - 応募作品(作品・データ等)は返却しませんのでご了承ください。
 - 作品は補作する場合があります。
 - 応募作品の意匠、特許、実用新案、商標、著作権などの知的財産は制作者に帰属します。そのため、応募の際は応募者が自ら必要に応じて適切な権利処理を行ってください。
 - 作品の保管場所や審査会場・展示会場の都合により、作品のサイズによっては実物による出品の受付ができない場合があります。

「第18回 静岡県MUDデザインコンテスト2024」 出品申込書

(コピーしてご利用ください)

募集要項を理解した上で、下記のとおり「第18回 静岡県MUDデザインコンテスト2024」に応募します。

署 名 印

以下の項目をご記入ください。

応募資格	①一般の部 ②学生の部 (いずれかに○をつけてください)		
募集部門 いずれかに○をつけてください	①グラフィックテクニック(DTP) 文字、組版、図表、イラスト、色使いなどを工夫した作品	②商品企画 種別、分野は自由でMUDを活用したオリジナル作品	③製本、加工技術 折、製本、形態など後加工で使いやすさに工夫をした作品
企業名/学校名			
(ふりがな)			
出品者氏名			
連絡先の区分	①企業 ②学校 (いずれかに○をつけてください)		
住 所	〒		
T E L		F A X	
E - m a i l			
発行会社 (クライアント)	※出品前に必ず発行会社(クライアント)に許可をお取りください。		
作品名			
工夫点 審査の判断基準になりますので、作品のポイントを分かりやすくご記入ください			

※別途プレゼン資料等(A4サイズ)を作品とデータと共にお送りいただいても結構です。
※作品(実物)が無い場合は、工夫点やコンセプトをまとめた資料のみで審査を行います。

情報の83%は視覚メディアから MUDの必要性

今、我々が取り組むべきことは…

— 情報弱者を作らない! —

2016年4月1日から施行された【障害者差別解消法】により、情報をわかりやすく伝えるための配慮が社会から求められています。印刷物への配慮は官公庁に限らず、さまざまな企業からも強い要望が寄せられています。メディア・ユニバーサル・デザイン(MUD)は、印刷物の「訴求力」を失うことなく、高齢者や障がい者、言葉の通じにくい外国人などにもわかりやすく情報を伝えるための配慮手法です。人間の五感には聴覚(耳)・嗅覚(鼻)・視覚(目)・触覚(手)・味覚(口)がありますが、情報の入り方には大きな差があります。多い順に並べると目(83%)・耳(11%)・鼻(3.5%)・手(1.5%)・口(1%)となり、圧倒的に視覚から入る情報が多いということがわかります。しかしながら「デザイン」・「文字の大きさや形」・「色の使い方」などに配慮されていない情報が多く、情報を読み取れずに不便を感じている高齢者・弱視者・色覚障がい者、また子どもや外国の人が多く存在している現状を理解して、正しく、わかり易く、より早く伝達できるよう改善していきましょう。

視覚メディアに対してさまざまな不満が寄せられています

- 行間が狭い
- 背景が文字と同系色でよみにくい
- 文字が小さい
- 色が多すぎてどれが重要かわからない

出典:「平成19年度 第11回ヨコハマeアンケート 印刷物のバリアフリーに関するアンケート」より

65歳以上の高齢者が総人口の29.1% 色覚障がい者も日本全国に320万人以上という現実

日本は超高齢者社会に突入し、2023年9月の総務省による人口統計では、65歳以上の人口は3,623万人で総人口の29.1%になります。加えて弱視者は、日本国内に100万人以上いると考えられます。さらに色覚障がい者は、日本国内に320万人以上いるといわれ、高齢者の白内障などにより色覚が低下した人数を加えると、一般の人と色の感じ方が違う人は500万人以上いると考えられます。また、近年増え続けている外国人への配慮、子どもへの配慮もあわせて取り組んでいくべき課題となっています。

ますます多様化する情報社会にあって、伝えたい情報・伝えるべき情報を正確に伝えることが大切です。表紙のイラストも色覚障がい者にはこのように見える方もおられます。

※(色の見え方には個人差があります)



静岡県印刷工業組合

〒422-8076 静岡市駿河区八幡4丁目1番3号
TEL:054-286-5171(代)

UD FONT
見やすいユニバーサル・デザイン
フォントを採用しています。



このパンフレットは
メディア・ユニバーサル・デザインの
考えで作成しています。